

# 大規模災害に備える！ RESCUE ネットワーク OSAKA

「大阪府消防長会」災害対応力向上の取組み

大阪府 大阪市消防局

## 1 RESCUEネットワークOSAKA

「RESCUEネットワークOSAKA」は、大阪府域の救助業務について、大阪府下の全28消防本部が協同して研究等を行い、救助活動力の充実強化を図るとともに、広域災害での連携を一層強化することを目的に救助技術の交流及び新たな救助技術の研究、救助隊の合同訓練、救助シンポジウム等を実施しています。

今年度は「大規模災害対応訓練」と「救助シンポジウム」を開催しました。

## 2 大規模災害対応訓練

昨年度のシンポジウムに参加した救助隊員の意見、要望などから、訓練内容を決定しました。

### (1) 実施日時

平成27年9月10日、17日、18日、10月13日 計4日間

### (2) 参加人数

訓練参加者199名、見学者182名 合計381名



埋没要救助者救出



倒壊建物安定化技術

### (3) 訓練内容

#### ・座学

埋没要救助者救出要領、ショアリング、ブリーチングの基本的知識及び要領など

#### ・埋没要救助者の救出訓練

土砂に生埋め状態の要救助者1名が発生した想定で、土留め等を行いながら救出する訓練

#### ・倒壊建物安定化技術

ショアリングの基本的な知識確認を行い、2ポストショアの組立及び設定作業、レースドポスト・ショアの展示教養

#### ・コンクリート破壊訓練

制限時間を設け、削岩機のみを使用した20cm厚のコンクリートブロックの開口部設定（各班対抗）訓練

#### ・ミーティング

訓練を実施した班ごとにミーティング（全体で質疑応答）



コンクリート破壊訓練



グループ訓練終了後に全員で腕立て伏せを実施し、顔の見える関係を構築

## 3 救助シンポジウム

テーマに基づいた基調講演をはじめ、報告並びに発表を聴講したのちに、各テーブルで意見交換会を実施し、最後に総合ディスカッションを実施しました。

## (1) 日時

平成27年12月10日（木）

## (2) 参加人数

参加者138名、見学者111名 合計249名

## (3) 講演、発表内容

### ・テーマ

若年層職員に対する技術伝承等について

### ・基調講演

「御嶽山噴火災害における救助活動から見た今後の人材育成について」

発表者：名古屋市消防局 消防部長 加納氏

### ・報告

「RESCUEネットワークOSAKAグループ訓練実施結果について」

発表者：大阪市消防局警防部警防課（救助）木村氏

### ・発表1

「FCM（Firefighter's communication method）」

発表者：枚方寝屋川消防組合消防本部 郡氏

### ・発表2

「心技体のバランス～若年層職員への技術伝承～」

発表者：柏原羽曳野藤井寺消防組合消防本部 山川氏

### ・意見交換会及び総合ディスカッション

・救助技術の高度化と発生が危惧される南海トラフ大地震等の大規模災害に備え我々救助隊員が今できることは何か

### 【発表】

・レスキューネットワーク（大阪市消防局）

・大阪府内消防本部の救助隊連携訓練のあり方と検討課題について（堺市消防局）

・idea-R（発想力のある救助活動を目指して）（枚方寝屋川消防組合消防本部）

### 【意見交換会及び総合ディスカッション】

・今後のRESCUEネットワークOSAKAのあり方について

(2) 「第2回大阪府下救助シンポジウム」平成26年12月

### 【テーマ】

・救助事案検討

### 【発表】

・第17回全国救助シンポジウム発表論旨「土砂災害」（大阪市消防局）

### 【情報提供】

・専科教育救助科の実施結果について（東大阪市消防局）

・山岳救助事案について（大阪市消防局）

### 【救助事案検討会】

・火災救助事案検討（枚方寝屋川消防組合消防本部）

・狭隘スペース救助事案検討（大阪市消防局）

・ショベルカー事故救助事案検討（堺市消防局）

### 【意見交換会及び総合ディスカッション】

・「救助事案検討会」での発表事案について意見交換

・来年度のRESCUEネットワークOSAKAの取組みについて



救助シンポジウム



基調講演 名古屋市消防局 加納部長

## 4 これまでの取組み

(1) 「第1回大阪府下救助シンポジウム」平成25年12月

### 【テーマ】

・大阪府下消防本部の救助隊連携強化のあり方について

## 5 おわりに

東日本大震災時に大阪府隊（救助部隊）が感じた反省点と改善策、そこから見えてきたものは「顔の見える環境」でした。

人と人の繋がりこそが、人を強く、小隊を強く、部隊を強くするものだと考えています。

「RESCUEネットワークOSAKA」の取組みがはじまり、一歩ずつではありますが、大阪府の各消防本部の救助隊が一つとなり、大規模災害への対応力が高まってきているように感じています。

起こり得る大規模災害において、有事の際はひとりでも多くの尊い命を守るため、強くそして優しい救助部隊を目指して、これからも鋭意取組んでいきたいと思っております。

先輩から後輩へ、現代から次世代へ救助の技術と想いを繋ぎ、過酷な活動であろうとも歯牙にもかけない強い部隊をめざして。